

研究課題名：新生児集中治療室における血液培養陽性菌と初期治療薬に関する研究に関する情報公開

1. 研究の対象

2010年1月1日から2017年12月31日までの期間に、名古屋大学医学部附属病院新生児集中治療室に入院されており、血液培養が採取された方

2. 研究目的・方法・研究期間

新生児敗血症は周産期死亡の主要原因です。新生児敗血症の主要な原因菌として、*Streptococcus agalactiae* やリステリア、大腸菌が知られていますが、日本でも Extended-spectrum β -lactamase (ESBL) などに代表される耐性機構を保持する菌が増加してきています。そのため初期治療薬について検討が必要と考えられます。2010年1月1日から2017年12月31日までの期間に、名古屋大学医学部附属病院新生児集中治療室に入院されており、血液培養が採取された方を対象として、よりよい治療薬選択を考えます。

2. 研究に用いる試料・情報の種類

情報：性別、生年月日、入院日、退院日、退院時死亡の有無、検体採取日、培養採取後30日以内死亡の有無、抗菌薬感受性結果、中心静脈カテーテルの有無、経鼻胃管チューブの有無、腹腔ドレーンの有無、胸腔ドレーンの有無、膀胱留置カテーテルの有無、気管切開の有無、挿管の有無、既往歴 等

4. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

名古屋大学大学院医学系研究科 臨床感染統御学

住所 愛知県名古屋市昭和区鶴舞町 65

直通電話番号 052-744-2955

FAX 番号 052-744-2801

研究責任者：

名古屋大学医学部附属病院 中央感染制御部

手塚 宜行